

国際交流基金フェロー講演会

古代の仏教願文を読む：権力者による宗教的支配とは何か

講師：郭珮君 KUO, Pei Chun 氏（台湾 / 国際交流基金日本研究フェロー）

願文は発願者（願主）が仏教儀礼の場で、神仏や聴衆に公表する宗教的宣言とも言える。日本の王権は仏教儀礼と密接しており、権力者がいかに仏教儀礼を利用し、願文によって自分の政治権威を強化し、政治的展望や宗教的支配などを表現したかに注目したい。

郭珮君 KUO, Pei Chun 氏

台湾出身。中央研究院博士研究員。
専門は東アジア古代史・仏教文化交流史。
2019年10月より2020年3月まで京都府立京都学・
歴彩館京都学研究員。2023年2月に国際交流基金
日本研究フェローとして来日。現在 京都大学人文科学
研究所で研究活動中。



日時：2023年7月18日(火曜日)
15時～16時

会場：京都府立京都学・歴彩館 小ホール
京都市左京区下鴨半木町 1-29
●京都市営地下鉄烏丸線「北山」駅下車(①出口)
南へ徒歩4分

定員：70名（無料 当日先着順・事前申込不要）



問合せ先：国際交流基金京都支部

（京都市左京区栗田口鳥居町2番地の1 京都市国際交流会館3階）

電話：075-762-1136（受付時間：月～金 10時～17時）

Email: jf_kyoto@jpf.go.jp

主催：国際交流基金京都支部

共催：京都府立京都学・歴彩館

